



VK-9コントロール部

コントロールパネル

- 4組のドローバー・セットは、すべて上鍵盤、下鍵盤のどちらにも使えます。
- 上鍵盤には、パーカッションまたはサスティンでドローバー・セット1、II、IIIのうちの、いずれかに加えることができます。
- 上鍵盤には、外部シンセサイザーをコントロールするK.C.V.とゲート・アウト・ジャックを装備。シンセサイザーとの同時演奏が可能です。
- 下鍵盤、低音部2オクターブでベース音の出せる“PEDAL TO LOWER”のキャブが付いています。
- 61鍵Cスケールを上鍵盤、下鍵盤ともに採用。プロ・キーボード・プレイヤーの使用に充分応えます。

- パーカッション  
ピアノやギターなど、紐を弾いたりはいじりたりした瞬間の急激な音の立ち上がりから、次第に消えてゆく効果をつくり出します。(この効果は上鍵盤のみ)
- ボリューム・ソフト  
パーカッションの音量が小さくなります。
- 2ND, 3RD, 5TH  
4、2音、1音の音がパーカッションとして入ります。
- ディレイ・ファースト  
パーカッション音の減衰が早くなります。
- リリック・アタック  
上鍵盤を弾くとリリック音(チャタリング音)が付きまします。
- 外部シンセサイザー・ポルタメント  
ポルタメント・タイム  
外部シンセサイザーを接続したとき、ポルタメントの時間をコントロールします。
- ポルタメント・スライバック  
ポルタメントのかかるモードを選べます。アップでは弾いた

接続パネル

- レボ・サウンド・システムが直接、接続できます。(レスリー710も接続可能。)
- また、ベダル鍵盤VKE-9も、ここで接続します。
- 上鍵盤、下鍵盤、ベース音にそれぞれ独立して外部エフェクターの接続ができます。

- アウトプット・ジャック  
●リアリクス  
オルガン全体の音色をコントロールし、特に高音域を変化させます。
- ノーマル  
アンプに接続するアウトプット・ジャックです。オルガン全体の音を出すことができます。
- ベース  
ベース音だけのアウトプット・ジャックです。ここからアンプに接続すると“ノーマル”のジャックからはベース音は出なくなります。
- 出力レベル調整スイッチ  
接続するアンプに応じてスイッチを調整します。
- 外部エフェクト・ジャック  
●アッパ、ロー、ベース  
上鍵盤、下鍵盤、下鍵盤ベースの音に、それぞれ独立して外部エフェクターを接続します。

- キーより高いキーを弾くときのみ、またダウンでは低いキーを弾くときのみ、OFFでは全体のキーにポルタメントがかかります。
- ドローバー1、II、III、IV  
オルガンの音色を決定するのが、このドローバーです。I、II、III、IVの4組があり上鍵盤、下鍵盤の両方に使えます。また、ドローバー1は8音の音程を持ち、サスティンと併用すればチャイム音などがつくれます。
- ベース・ドローバー  
ベースの音色を決め、フルート系16、B、ブラス系6の音程が得られます。
- ピブラット・レボセクター  
ピブラット効果、回転感豊かなロータリー・サウンドが得られるレボ効果、さらにコーラス効果を加えることにより厚みのある立体感あふれるサウンドが得られます。
- ピブラット/コーラス  
ピブラット効果とコーラス効果の切替スイッチ。
- デプス1、II  
デプス1は深いピブラット効果またはコーラス効果があり、デプスIIは中や深い効果があります。両方ONにすると深い効果が得られます。
- ロー、アッパ  
ローは下鍵盤、アッパは上鍵盤にピブラット効果またはコーラス効果を加えることができます。
- アッパ・プリセット1、II、III、IV  
オルガン内部であらかじめ上鍵盤用にプリセットされた音色のDとつを遊ぶことができます。
- 4組の音色をプリセットでき、作動を示すインジケータが点燈します。
- アッパ・ドローバー・セレクト1、II、III、IV  
上鍵盤で使うドローバー4組のうち、ひとつを選ぶスイッチです。ONにすると作動を示せるインジケータが点燈します。
- パーカッション/サスティン・セクター  
ドローバー(アッパ)・セレクト1、II、IIIにパーカッション、サスティンの効果を加えることができます。

- 外部インプット・ジャック  
●エクスプレッション(BEFORE, AFTER)  
エクスプレッション・ペダル(VKE-9)によって、オルガン全体の音量を変化させたり(BEFORE EXP)、またこのペダルに関係なく音を出させたりできます。(AFTER EXP)。
- 外部シンセサイザー・アウトプット・ジャック  
●K.C.V. GATE  
外部シンセサイザーをコントロールするためのK.C.V.とGATE信号です。
- ドローバー切替スイッチ  
ドローバー4組のうちI、II、IIIのDとつを選び外部シンセサイザーのON/OFFをします。たとえIにすると、ドローバーIIを選んでときにシンセサイザーがはたらきます。
- 外部エクスプレッション・ペダル・ジャック  
エクスプレッション・ペダルVKE-1を接続します。



- アッパ・サスティン1、II  
サスティン・セクターにより、サスティンIでは短く、サスティンIIではやや長いサスティンがかかります。
- ロー・プリセット1、II、III、IV  
このプリセットは下鍵盤用で、オルガン内部で4組の音色をプリセットでき、4組のうちひとつを選ぶことができます。作動を示せるインジケータが点燈します。
- ロー・ドローバー・セレクト1、II、III、IV  
下鍵盤で使うドローバー4組のうち、ひとつを選ぶスイッチでONにすると作動を示せるインジケータが点燈します。
- ベース  
●ロー・サウンド・ペダル  
下鍵盤の低音部2オクターブの音をベダル鍵盤で出すことができます。
- ベダル・トゥ・ロー  
下鍵盤の低音部2オクターブでベースの音を出すことができます。
- エンベロープ1、II  
エンベロープIは、ベース音にアタックが付き、エンベロープIIではサスティンが付きまします。エンベロープIとIIの両方ONにすると、ベース音にアタックとサスティンがかかります。
- ロー、コントロール  
シャープな回転感のロータリー・サウンド、重厚なサウンドをつくり出すコーラス効果など立体感あふれるサウンドをつくり出すレボ・サウンド・システムRDシリーズを接続した場合、ノーマルとロータリー・サウンドまたはコーラス効果、ロータリー・サウンドのファースト・スローなどすべての操作が簡単に手元で行えます。

- ベダル  
25鍵の本格的ベダル鍵盤VKE-9を接続します。
- レボ  
レボ・サウンド・システムRDシリーズを接続します。
- レスリー  
レスリー(710)のみ接続が可能です。



VK-6コントロール部

コントロールパネル

- 4組Cスケール。
- 上鍵盤、下鍵盤ともに9本のドローバーで豊富な音色をつくり出すことができます。
- レボ・サウンド・システムを直接、接続ができ、VK-9と同じように手元で簡単にコントロールできます。
- 下鍵盤低音部2オクターブでベース音が出せるマニュアル・ベースが付いています。
- マスター・ボリューム  
オルガン全体の音量をコントロールします。
- パーカッション  
●ボリューム・ソフト  
パーカッションの音量が小さくなります。
- 2ND, 3RD, 5TH  
4、2音、1音の音がパーカッションとして入ります。
- ディレイ・ファースト  
パーカッション音の減衰が早くなります。
- リリック・アタック  
上鍵盤を弾くとリリック音(チャタリング音)が付きまします。
- オルガン・デュニオン  
オルガン全体のピッチ(音程)をコントロールします。上下に約300セント変化した特殊な効果をつくり出すことができます。
- シンセサイザー  
外部シンセサイザー・システムが接続でき、レスリー・サウンド・システムが接続して、ポルタメントの特殊な効果を楽しめます。

接続パネル

- 機体本位にまとめた接続パネルは、VK-9と同じはたらきをします。外部エフェクト・ジャックは装備されていません。
- 上鍵盤で外部シンセサイザーをコントロールするためのK.C.V.とGATEのジャックを装備。シンセサイザーとの共演も可能です。
- アウトプット・ジャック  
●リアリクス  
オルガン全体の音色、特に高音域を変化させることができます。
- アウトプット・ジャック  
ギター・アンプ、キーボード・アンプ、レボ・サウンド・システムなどに接続できます。

機能をさらに豊富にするオプション群。

<p><b>VK-9用</b></p>  <p><b>VKB-9</b> ベダル鍵盤 + エクスプレッション・ペダル ●本体寸法: 390(W)×140(D)×140(H)mm ●重量: 4.5kg ●材質: 黒色塗装 ●電源: 単3電池×2 ●付属品: 単3電池×2、接続コード</p>	<p><b>VKB-6</b> ベンチ</p>  <p>●本体寸法: 390(W)×140(D)×140(H)mm ●重量: 1.9kg</p>	<p><b>VKP-6</b> ベダル鍵盤</p>  <p>●本体寸法: 390(W)×140(D)×140(H)mm ●重量: 1.9kg ●材質: 黒色塗装 ●電源: 単3電池×2 ●付属品: 単3電池×2、接続コード</p>	<p><b>VKB-6</b> ベンチ</p>  <p>●本体寸法: 390(W)×140(D)×140(H)mm ●重量: 1.9kg</p>	<p><b>VKE-1</b> エクスプレッション・ペダル</p>  <p>●本体寸法: 140(W)×140(D)×140(H)mm ●重量: 1.9kg ●材質: 黒色塗装 ●電源: 単3電池×2 ●付属品: 単3電池×2、接続コード</p>
---	---	--	---	--

- ピブラット  
ピブラット効果、またはコーラス効果が上鍵盤、下鍵盤ともかかりまします。
- ピブラット/コーラス  
ピブラット効果とコーラス効果の切替スイッチ。
- デプス1、II  
ピブラット効果またはコーラス効果がデプスIでは浅めに、デプスIIでは中や深い効果があります。両方ONにすると深い効果が得られます。
- ロー・プリセット  
下鍵盤用のプリセット・コントロールです。
- ベース  
ベース音を下鍵盤2オクターブで出せます。
- ナイビラス  
フルート系の音色が出ます。
- アンキンプル  
厚みのあるベース・アンキンプル系の音色が出ます。
- ドローバー  
これをONにすると、ロー・ドローバーがはたらきます。
- アッパ・プリセット  
上鍵盤用のプリセット・コントロールです。
- シンセサイザー  
外部シンセサイザーから出る音色をON/OFFします。
- トランベイト  
トランベイト系の音色が出ます。
- フルナイビラス  
フルート系の豊かな音色が出ます。

- シラター・プラス  
プラス系の社紋な響きをもった音色が出ます。
- ベース・プリセット  
●エンベロープ1、II  
エンベロープIでは、ベース音にアタックが付き、エンベロープIIではサスティンが付きまします。
- レボ・コントロール  
VK-9と同じはたらきをします。
- ドローバー  
VK-6の音色を決定します。
- アッパ、ドローバー  
上鍵盤の音色をつくり出します。アッパ・プリセットのタブレットをONにするとはたらきます。
- ロー、ドローバー  
下鍵盤の音色をつくり出します。ロー・プリセットのタブレットをONにするとはたらきます。
- ベース・ドローバー  
ベース音をつくり出します。

外部シンセサイザー・ジャック  
外部シンセサイザーをコントロールするためのK.C.V.とGATE信号です。

